

CHALLENGE

JAはだの営農経済改革への挑戦

2017年3月1日～2018年2月28日 実践報告



「はるみ」定点観測

秦野市農業協同組合
 神奈川県秦野市平沢477番地
<http://ja-hadano.or.jp/>



「ピーなマン」 「やえのちゃん」





<目次>

1. 営農指導事業強化に向けた取り組み
 - (1) 営農指導体制の整備
 - (2) 営農サポート・経営相談等の充実
 - (3) 新規就農者等のサポート強化
 - (4) 地域農業の理解醸成と観光農業の振興
2. 販売力強化に向けた取り組み
 - (1) 都市農業の特徴を生かした多様な販路による販売力強化
 - (2) JA直売所の一層の充実と地産地消の推進
 - (3) 販売力を発揮するための体制整備
3. 生産購買事業強化・再構築に向けた取り組み
 - (1) 生産コスト低減対策
 - (2) 担い手に対する柔軟な価格対策
 - (3) 営農指導・TAC活動との連携
4. 組織運営・経営管理改善に向けた取り組み

夢のある農業と次世代へつなぐ

豊かな社会を地域できずく



JAはだの営農経済改革とは

「第二次地域農業振興計画」の目標達成にむけ取り組みを強化・加速化することを目的に策定したJAはだの営農経済改革は、「営農指導事業の強化」「販売力強化」「生産購買事業強化・再構築」を重点項目として具体策を示しています。JAはだのは、改革を確実に実践することで、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」をめざします。



Challenge 1

営農指導事業強化に向けた取り組み

(1) 営農指導体制の整備

①TAC活動の強化

- ・TAC担当者を4名に増員。
- 延べ訪問件数 3,929件 (前年 2,368件)



②情報提供の強化

- ・タブレットを活用した病害虫診断、施肥・農薬防除の支援
- ・月間グリーンレポートを活用した情報提供



③営農指導員の確保と職員の資質向上

- ・営農指導員新規認証者 2人 (有資格者計 6人)
- ・国内産農産物検査員 3人 (有資格者計 8人)
- ・農薬管理指導士 1人 (有資格者計 5人)

(2) 営農サポート・経営相談等の充実

①電牧器関連資材設置費助成金の取扱

- ・申請件数 150件 (前年 125件)
- ・助成額 346万円 (前年284万円)



多くの組合員にご利用頂きました。
2018年度も引き続き、3万円を
上限に1/2までを助成します。

②農業応援プログラムを活用し購入費用を助成

- ・有害鳥獣対策助成 16件 49万円
- ・農機取得費用助成 23件 74万円

③有害鳥獣対策作物の試験栽培

- ・エゴマ
10件44aへ作付け拡大。(前年5件37a)
- ・葉ニンニク
地元業者と連携し、商品化



④加工相談会を開催

- ・気軽にご相談できる相談日を設定。6回開催

⑤農業機械利用(リース)事業

- ・2018年4月よりチッパーのレンタルを始めます。

メンテナンス料	2,000円/日
貸出期間	最大2日まで

⑥体験型農園への支援

J Aはだのは、都市農地の保全を目的に、市民農園や観光農園とも異なる新たな形態の農業経営として体験型農園の経営支援に取り組んでいます。

これは、農業者(園主)自らの農業経営として、園主が作付け計画、資材の準備、農作業指導を行い、入園者は、播種から収穫までの農作業を体験します。園主の指導の下で農業を体験できるため、誰でも高品質な農産物を収穫できます。

4月にオープン予定の平沢地区「名水湧く湧く農園」もJ Aはだのが支援しています。今後も、J Aはだのは、体験型農園を応援していきます!

農園利用者 大募集!

体験型農園って?

- 種・苗・肥料は園主が全て用意します
- 道具は全て揃っているので、手ぶらで大丈夫です
- 年間計画の農作物の播種・植え付け・栽培管理方法・収穫まで指導します
- 名水湧水地内の畑で、年間20種類以上の安心安全な野菜を収穫できます
- 農と食の交流イベントに参加できます

秦野で初めての
「体験型農園」
2018年4月開園!

名水 わ 湧く湧く 農園

イベントも盛りだくさん

- 春・秋植え付け
- 収穫までの講習会
- 各種収穫作業
- 入園者交流会
- バーベキュー大会
- 夏祭り、花火大会
- 収穫祭
- もちつき

*** etc
花農家だから出来るイベントを企画しています

初心者でも立派な野菜を作れます

- 農園所在地: 秦野市平沢1080番地内
- 利用期間: 4月～翌年2月末
- 栽培講習会: 月に2回程度(金・土)予定
- 利用区画: 1区画20㎡、50区画募集。このほか共同区画での栽培にも参加できます。家族、友人、団体等、複数人での利用も可
- 年会費: 40,000円(税込)/区画。駐車場(有料)有り

園内に湧き出るおいしい名水でおいしい野菜を一緒に作ってみませんか

●応募方法: 電話またはFAXにて、お名前・ご住所・電話番号をお知らせ下さい。

●募集について: 随時募集しています。ご応募下さった方全員にご連絡いたします。

3月3日(土)11:00～15:00にプレオープン祭(説明会)を開催します。

(3) 新規就農者等のサポート強化

①「新規就農者を励ますつどい」を開催

- ・2017年度新たに就農した新規就農者4人を激励。

秦野市の農業のさらなる活性化へ、秦野市経営士会やJAなどが積極的に新規就農者をサポートしていきます。



②「はだの市民農業塾」を開催

- ・新規就農コース 5人 修了
- ・基礎セミナーコース 8人 修了
- ・農産加工セミナーコース 17人 修了

③「はだの市民農業塾就農者連絡協議会」^{*}への活動支援

※ 農業塾を終了し、市内で新規就農した方で組織する協議会です。(会員：44名)

- ・相互の情報交換や技術向上のための研修会(6回)
- ・専業農家視察(2回)、会員圃場巡回(2回)
- ・会員による落花生共同栽培(横野地区：47a)
- ・圃場整備や農機具の導入に対する支援(新規就農者支援事業)

(4) 地域農業の理解醸成と観光農業の振興

①収穫体験型農業への取り組み

- ・オーナー制度 201組(193組)
- ・収穫体験 143組(86組)

②はだの満喫CLUB

- ・登録会員数 644人(606人)

③農園ハイク収穫体験を支援

- ・丹沢秦野農園ハイク 88組 288人
(94組 304人)
- ・上地区農園ハイク 42組 106人
(71組 214人) ※ () 内は前年同期



●落花生オーナー



さらなる観光資源の活用と受入体制の充実に取り組みます。



●田んぼオーナー(田植え)

観光農業の紹介



●田んぼオーナー(収穫)



●サツマイモオーナー(収穫)



●収穫体験(筍)



●上地区農園ハイク



●丹沢秦野農園ハイク

この他に、オーナー制度では、エダマメやタマネギ。収穫体験では、ジャガイモ、トムモロコシ、タマネギを実施。

Challenge 2

販売力強化に向けた取り組み

(1) 都市農業の特徴を生かした多様な販路による販売力強化

①全農中央ベジフルセンターとの連携

- 販売振興作物のニンジンを出荷 → 11/14より出荷 出荷量 4,697kg
- 加工用ラッキョウの試験栽培 → 育成状況の把握と栽培指導を実施
- インショップ供給店舗の拡大 → 小田原百貨店渋沢店へ供給開始



②キウイフルーツの出荷量拡大

- 丹沢レッド 10,780kg (8,848kg)
- ハイワード 23,646kg (20,160kg)



③東京アグリパーク事業に協賛・参加

- 秦野産農畜産物のPR
- 消費者との直接対話によるニーズ把握

9月12日～14日開催の東京アグリパークイベントでは、JAはだのがー丸となって秦野の農業紹介に取組み、地産地消実践レストラン、太巻き寿司作り、フラワー芳香剤作り、農産物や農産加工品の即売、JAはだのオリジナルキャラクターによる積極的なPRを実施しました。



(2) JA直売所の一層の充実と地産地消の推進

①じばさんず買取販売の展開

- 道の駅「ふじおやま」へ出荷開始
- 加工用ナスの買取 497.5kg
- 「なます」用ダイコンの買取 1,100kg



②オリジナル商品の発売

- はだの丹沢梨サイダー 12,192本
- はだの丹沢莓サイダー 12,120本
- しゅわっと梨飴 2,000袋



③秦野ふるさと納税の充実

- じばさんずにおけるふるさと納税額
2017年度 395万円 (前年 386万円)

④全国初の直売所オリジナルGAP「Jiba-GAP」を導入

- 「食の安全」「労働の安全」「環境の安全」を点検するチェック項目40項目を設定
- Jiba-GAP大会を開催、店内への掲示版設置など啓発とPRを実施

⑤近隣量販店の野菜価格の掲示



(3) 販売力を発揮するための体制整備

①販売先のニーズに対応できる職員育成

- イオンへのハウスブドウやキウイフルーツの出荷開始

Challenge 3

生産購買事業強化・再構築に向けた取り組み

(1) 生産コスト低減対策

①JAグリーンで定期的な値引きキャンペーンを実施

2017年度の主なキャンペーン

3月4日～13日	除草剤キャンペーン ラウンドアップマックスロード、バスタ乳剤、農薬散布マスクなどの価格を引下げ
4月1日～10日	春の農薬・肥料キャンペーン エコ808、チップソーなどの価格を引下げ
5月10日～19日	ボードンキャンペーン 野菜用ボードン袋、テープ類などの価格を引下げ
6月9日～18日	水稻用資材キャンペーン 水稻用農薬、農薬散布マスクなどの価格を引下げ
7月1日～10日	除草剤キャンペーン ラウンドアップマックスロード、バスタ乳剤などの価格を引下げ
8月4日～13日	
9月4日～13日	農薬・肥料キャンペーン ダイアジノン粒剤5、ジシアン有機特806などの価格を引下げ
10月6日～15日	ボードン・テープキャンペーン 野菜用ボードン袋、テープ類などの価格を引下げ
11月1日～10日	タマネギ用資材キャンペーン タマネギ栽培用のマルチ、肥料、農薬などの価格を引下げ
12月13日～22日	全生産資材を3%引き 一部商品を除き全ての生産資材を3%引きで販売
1月12日～21日	新春キャンペーン 一部商品を除き生産資材と肥料を3%引きで販売
2月3日～12日	ジャガ関連資材キャンペーン ジャガイモ栽培に必要な肥料農薬などの価格を引下げ



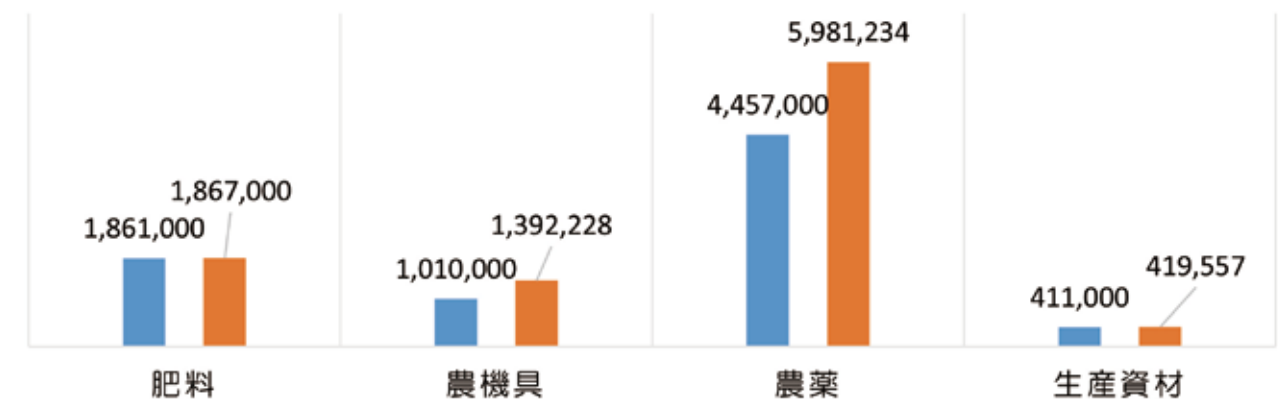
2018年度もキャンペーンを行います。
お得な価格で提供しますので
JAグリーンへお立ち寄り下さい。

JAグリーンは頑張る農家を応援します!

②2017年度値引額

分類別値引き額

■ 2016年度 ■ 2017年度



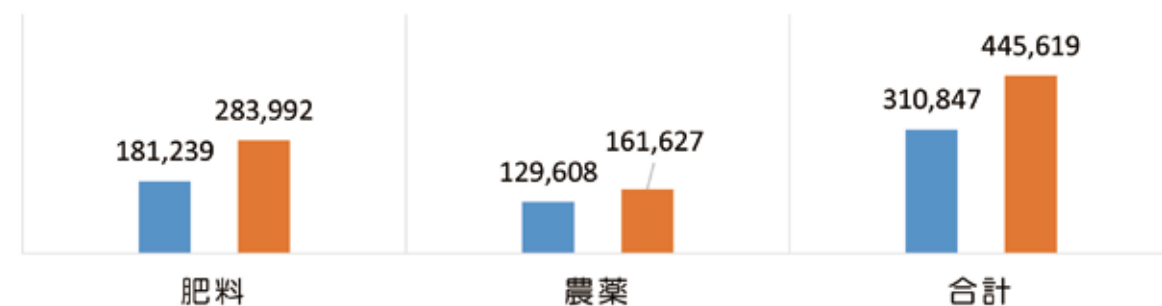
(2) 担い手に対する柔軟な価格対策

①生産組合・業種別部会予約注文の大口値引き基準の見直し

肥料	(早期引取分) 50袋以上	→	(早期引取分) 30袋以上 ※2018年2月～4月は60袋以上でさらに3%の値引き
農薬	(取引価格) 10万円以上		(取引価格) 7万円以上、さらに3%の値引き

大口値引き額

■ 2016年度 ■ 2017年度



(3) 営農指導・TAC活動との連携

①TAC活動と連携した情報提供

- ・貸出担当者との同行訪問による農業資金ニーズの掘り起こし
農業資金 18件 3,018万円 (前期 9件 4,337万円)
- ・メーカー担当者との同行訪問による情報提供
肥料・農薬の新商品試験や重点項目資材の推進

Challenge 4 組織運営・経営管理改善に向けた取り組み

① JAIはだのオリジナルキャラクター「やえのちゃん」「ピーなマン」大活躍



やえのちゃん



●ピーなマン体操



「ピーなマン」



●農業まつり



●ピーなマン焼き

② 支所を拠点とした組織活動の展開

支所運営委員会では、地域に根ざした協同活動の展開により地域の活性化に取り組んでいます。活動の紹介は次ページ。

③ 認定農業者との話し合い

- ・認定農業者との話し合いを開催
- ・支所長、支店長による認定農業者訪問



2017年度支所運営委員会活動報告

支所名	開催内容
大根	サツマイモと落花生の収穫体験の開催 大根ふれあいまつりへの参加 年末市の開催
本町	第8回かながわ朝一サミットin HADANOへの参加支援 第26回本町地区福祉ふれあいまつりへの参加 「花の寄せ植え」づくり
東	女性部主催のグラウンドゴルフ大会に参加 サツマイモの収穫体験の開催（活動は5月～11月） 企画旅行の実施（南魚沼もてなしの郷等） 東支所ふれあいまつりとして実朝まつりへの参加
南	落花生収穫体験の応援（活動は3月～9月） 第30回南地区ふれあいまつりへの参加
北	農業学習会（農家訪問）の開催 北地区生産茶PRの実施(来店者ドリンクサービス) 第43回まきの木まつりへの参加 北地区農産物直売所マップを作成・配付 北地区生産茶PRの実施(来店者ドリンクサービス)
西	四十八瀬川の源流を訪ねる集いを開催 西幼稚園バザーへの参加 西っ子バザーへの参加（西小学校） 西っ子まつりへの参加（西小学校） 野菜の収穫体験の開催
上	食農教育活動（上幼稚園でジャガイモ植え付け指導） 食農教育活動（上幼稚園と上小学校へイチゴを寄贈） 食農教育活動（上幼稚園で野菜苗植え付け指導） グラウンドゴルフ大会の開催 ソバづくり教室の開催（活動は7月～11月） 上支所ふれあいまつりの開催 グラウンドゴルフ大会の開催 上小学校「ふれあい活動」への協力 そば打ちづくり教室の開催 食農教育活動（上幼稚園と上小学校へミカンを寄贈） 上小学校「そば打ちづくり教室」の開催 視察研修会の開催



④「JAはだのみんなで地産地消運動」を継続実施
第53回通常総会で特別決議された、一日一品以上の
秦野産農畜産物を食べ、秦野産の花を家庭に飾ろう
という運動で、秦野の農業を応援しています。

⑤JAカード5%割引実施店への登録
じばさんずでJAカードを利用すると請求時の金額
から5%割引になります。

期間は 2019年3月31日まで！

⑥農業応援定期の開発
JA貯金が秦野の農業応援に直接貢献できる仕組み
として、農業所得の増大、農業生産の拡大に寄与する
ことを目的に「JAはだの農業応援定期貯金」の取扱
を2018年3月1日より開始します。

⑦役員体制の見直し
改正農協法の対応した役員構成と
するため新たな役員体制を踏まえた
定款・諸規程の整備と役員選出の仕
組み構築に取り組みました。

【主な変更点】

変更前			変更後		
役員	推薦定数		役員	推薦定数	
理事	区域	29人	理事	区域	18人
	区域以外			7人 (うち実務経験者1人以上)	
監事	6~8人 (うち実務経験者1人、員外監事1人) ただし、実務経験者と員外監事は兼ねることができる。		監事	4人以上5人以内 (うち実務経験者1人、員外監事1人) ただし、実務経験者と員外監事は兼ねることができる。	



JAはだのめざすもの

- ① 次世代との共生
 - ② 地域との共生
 - ③ アジアとの共生
- JA運営の基本理念**
- 「JA綱領」の精神を踏まえつつ、これまで掲げてきた「夢のある農業と次世代へつなぐ豊かな社会を地域できずく」をあらためて再確認します。
- JA運営の基本目標**
- 地域社会で果たしたい役割
- ① 地域の特性を活かした農業振興と都市農業が果たし得る地域社会への多面的な機能の発揮
 - ② 健康で福祉が充実した豊かで活力あるコミュニティの形成への積極的貢献
- 「3つの共生運動」への取り組み**

基本理念 「夢のある農業と次世代へつなぐ豊かな社会を地域できずく」

「夢のある農業」とは
農業者にとってやりがいがあり、また、地域社会にとってかけがえのない役割を果たし、地域の人々からも期待され、評価され、その結果、後継者が次々と生まれるような活力ある都市農業づくりをめざすこと。

「次世代へつなぐ豊かな社会」とは
次の世代を担う若者や子ども達に、自信を持って継承してもらえる地域社会づくりをめざすこと。
そのような社会とは、一つは、経済的な豊かさはもちろん、精神的にも豊かな気持ちで安心して暮らせる生活環境や条件が整った社会であり、もう一つは、地域環境の保全や農との共生、協同活動を大切にす人々で構成される社会です。

「地域できずく」とは
組合員をはじめ、地域住民の協同活動を基本に、みんなが求める地域社会をきずくこと。

JAは、そのような地域住民の協同活動を、市をはじめ組織・機関と連携して、支援・助長することが大切だと考えています。

本所	〒257-0015	秦野市平沢477	☎(0463)81-7711(代)
大根支所	〒257-0003	秦野市南矢名3-15-1	☎(0463)77-1660
鶴巻支店	〒257-0002	秦野市鶴巻南4-18-35	☎(0463)77-0840
本町支所	〒257-0035	秦野市本町1-9-3	☎(0463)81-0019
東支所	〒257-0023	秦野市寺山1-1	☎(0463)81-2549
南支所	〒257-0014	秦野市今泉564-7	☎(0463)81-0268
秦野駅前支店	〒257-0051	秦野市今川町1-3	☎(0463)81-3922
北支所	〒259-1302	秦野市菩提354-2	☎(0463)75-1629
西支所	〒259-1317	秦野市並木町1-33	☎(0463)88-0004
上支所	〒259-1332	秦野市菖蒲1393-1	☎(0463)88-0007
鶴巻阿コンサルトはだの	〒257-0051	秦野市今川町1-3	☎(0463)81-2329

<http://ja-hadano.or.jp/>